



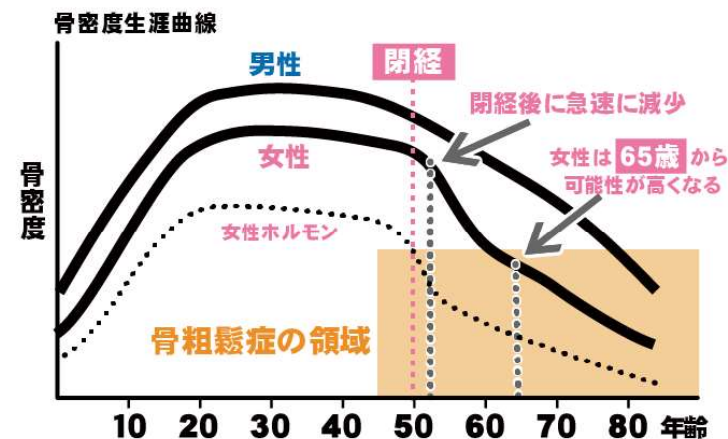
骨密度検査機器を導入しました

坂本民主診療所 所長 今村浩

2019年に実施された国民生活基礎調査によると、寝たきりや自立した生活ができない要介護状態になった原因の第3位は「骨折・転倒」でした。なかでも、大腿骨（太ももの骨）を骨折してしまうと生活や移動が困難になるだけではなく、死亡率が上昇することが明らかになっています。このため、特に「65歳以上の女性」と「70歳以上の男性」は骨密度の低下による骨折のリスクを有しているため、定期的に骨密度の検査を受けることが勧められています。

骨密度検査は多くの医療施設で実施されていますが、検査方法にはいくつかの種類があり精度や検査方法も少し異なります。その一つにデキサ（DEXA）法があり、診療所では1月に導入し、20日から検査を開始します。この検査は、2種類のX線を用いて、おもに腰椎と大腿骨近位部の骨密度を評価します。骨密度検査方法のなかで最も精度が高く、「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン」でも推奨されている検査方法です。専用の装置に仰向けで寝て測定を行います。検査時間は5～10分程です。

さて、転倒して骨折するだけでなく、「知らぬ間に骨折」



という、知らない間に、特に背骨に圧迫骨折を起こしていることがあります。壮年期から高齢期の健康に大きな影響がでます。このため、年に一度は骨密度を測定して、自分の骨の状態を確かめましょう。軽症であれば、運動と栄養で改善しますし、治療が要する状態であれば効果的な薬もあります。

検査費用

医療保険：一割負担 450円（3割 1,350円）

健診費用：友の会員 税込 3,300円
（一般 4,950円）

お知らせ

<特定健診のご案内>

◆特定健康診査は1月末まで（国保や後期高齢者保険）です。

今年度まだ未受検の方は、肺がん検診や大腸がん検診とあわせて、ご予約をお急ぎください

<訪問診療の運転手を募集しています（2月～）>

- 月曜日（月4回）午後13時～16時30分
- 時給：1,080円（定期昇給あり）
- 定年：満70歳まで